

HFレーダーの精度検証の開始について

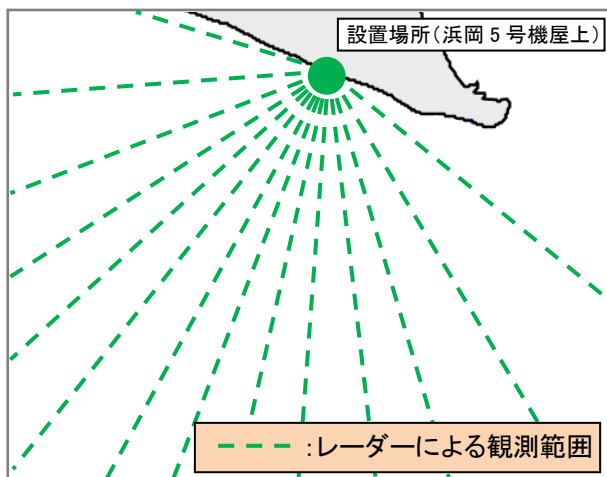
2015年10月30日

当社は、津波監視技術の実用化に向けた研究の一環として、HF帯電波^{※1}を用いたレーダー（以下、「HFレーダー」という。）による発電所前面海域における海表面の流速観測をおこない、津波来襲時の流速変化が検知可能であるかの技術検証を進めてきました。（[2015年2月18日](#) お知らせ済み）

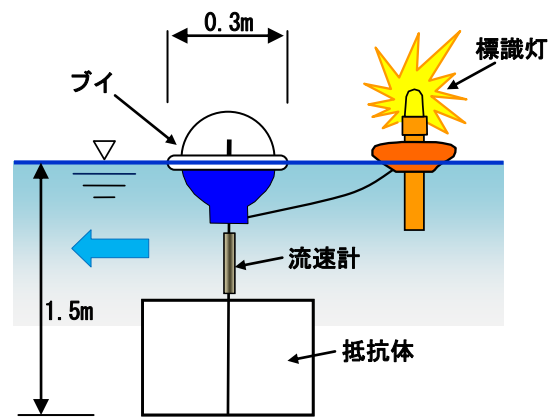
この技術検証の一環として、発電所前面海域においてGPS漂流ブイ^{※2}（以下、「漂流ブイ」という。）を用いた海表面の流速観測によるHFレーダーの精度検証を開始するため、お知らせします。観測は、11月中の3日間を予定しており、気象や海象状況に応じて実施日を判断します。

今後、HFレーダーと漂流ブイで得られたそれぞれの海表面の流速結果を比較することで、HFレーダーの精度検証を進め、津波監視技術の実用化に向け有効性を確認します。

当社は、引き続き、HFレーダー以外の津波監視技術についても研究を進め、発電所における初動体制や復旧体制の構築などに役立てていきます。



HFレーダーの観測範囲(イメージ)



漂流ブイ(イメージ)

※1 HF(high frequency)帯電波とは、周波数が3MHz～30MHzの電波のことです。

※2 GPS漂流ブイとは、海表面に漂流させ、人工衛星を利用して時刻や位置を含む情報を取得する浮きのことです。この漂流ブイに、抵抗体や流速計を設置することにより、海表面の流速を計測します。

以上